

# 令和元年度 生駒市環境モデル都市 取組実績

資料 2

## 環境がまちをつくる

環境負荷の低いまちづくり	集合住宅共用部LED化補助金(補助件数 16件)
省エネルギーフォーム・リノベーション支援	住宅省エネルギー改修工事補助(建築課)(補助件数 30件) 「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家流通促進検討会議を月に1度開催しながら空き家所有者支援を実施(住宅政策室)(取扱件数30件(内成約件数:16件)) 既存住宅流通等促進奨励金(住宅政策室)(補助件数 7件)
太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用	太陽光発電普及促進事業補助 ・1kWあたり2万円(補助件数 53件) 全額市民出資による市民共同発電所(第1号機~4号機)を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施
燃料電池・コージェネレーションの導入支援	家庭用燃料電池設置補助 ・1件あたり5万円(補助件数 240件) 家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助 ・1kWhあたり1万円(補助件数 67件)
環境にやさしい移動手段の普及促進	市内の5箇所(市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター)に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用 ・利用実績 916件、4516.0kWh 超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続(健康課) V2Hシステム設置補助 1件あたり5万円(補助件数 1件)

## 環境がひとを育てる

家庭でのエコ取組の促進	省エネルギー診断(うちエコ診断)の実施(参加者 45名)
学校・地域への環境出前講座	包括連携協定を締結した近畿大学と連携し、環境イベント「かしこくえらぶおひさまエネルギー」にて大学生と協働で食品ロスがテーマの参加型の環境教育プログラムを実施(参加者 62名) NPO団体を活用した体験授業を行う「エコキッズ」事業を実施 国際NGOであるFEEが実施する環境学習プログラム「エコスクール」の取組を継続実施
住民や企業、他都市と連携した取組	欧州連合(EU)が実施する都市間協力事業「IUCプロジェクト」の成果として、ローカルアクションプランをパートナー都市であるイタリア国アンコーナ市と共同で作成 環境省補助を活用し、ごみ出しを活用した地域コミュニティ向上モデル事を実施

## 環境が経済を循環させる

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環	平成29年に設立された地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」による電力供給を継続 令和元年4月、地域の剪定枝等を利用したバイオマス発電を行う事業者から再生可能エネルギーの調達を開始。いこま市民パワー株式会社の再生可能エネルギー比率が向上(再エネ比率 10.4%) 環境省補助を活用し、いこま市民パワー新たな地産地消エネルギーモデルの実現に向けた事業スキーム及び経済性の検証・検討を実施
各種EMS導入支援	住宅用エネルギー管理システム(HEMS)設置補助 ・1件あたり上限1万円(補助件数 28件)
地産地消サイクル構築に向けた取組	フードドライブを毎週木曜日、「環境フェスティバル」、「かしこくえらぶおひさまエネルギー」等のイベントで実施(回収量 261.9kg 1,343点) 家庭で不要になった食品や飲み物を交換する食品トロックを実施